

【当日出された意見等】			
	意見内容	回答	担当課
議題1	1【経営課題1－1】 地域づくりアドバイザーの役割や支援内容にはどのようなものがあるのか。	支援内容をHPに掲載予定です。 現在3人の地域づくりアドバイザーが地活協が地域活動をするにあたってのアプローチ方法や広報の仕方の支援やアンケート調査の分析等を行っています。 支援メニューをまとめたものがあるので、本会で配付します。	地域課（地域）
	2【経営課題1－1】 地域活動協議会の認知度向上につなげる取組にある「ICTの活用」の具体的な内容はこういったものか。	区役所1階のデジタルサイネージで地活協の活動内容を放映したり、イオンスタイル東淀川のデジタルサイネージを活用して広報をしています。また、FacebookやX（旧Twitter）などのSNSも活用して認知度の向上も引き続き行ってまいります。	
	3【経営課題1－1】 地域活動協議会に関わっていない人へのアプローチをどうするか。	アプローチの方法は各地域の地域活動協議会の状況によって異なることから、各地域活動協議会と連携して取り組む必要があります。 区役所としましては、各地域活動協議会の取り組みが広く周知されるよう、地域活動協議会に関わっていない人へアプローチするために、地域づくりアドバイザーが中心となって、様々な広報ツールを活用できるよう、各地域活動協議会を支援していきます。 今後、広報紙やSNSなどを通じて地域活動協議会の活動内容について、興味を持ってもらうように広報してまいります。	
	4【経営課題1－1】 「地域活動協議会を知っているか」について、区民アンケートでの認知度が低い。	区民アンケートはあくまで無作為となっていることから、地域活動協議会に関心のない人も対象になっているため、認知度が低いものと考えられます。 このため広報紙やホームページなどで地域活動協議会の活動内容を積極的にPRし、認知度の向上に努めてまいりたいと考えております。	
	5【経営課題1－1】 区役所はどの世代に地域活動協議会を知ってほしいのか。	地活協はすべての方に参加していただける活動を実施しているので、広くどの世代にも知っていただきたいと考えています。	
	6【経営課題1－2】 アウトカム指標（区民アンケートで「東淀川区は様々な魅力を活かし…」と回答する人の割合）の数値が低い原因としてコロナ禍以外では何が考えられるのか。	令和元年度29.7%以降、年々減少し令和4年度は20.8%となっており、コロナ禍で活動ができなかったことが大きな要因と考えられますが、これまでの活動を地道に広報することも必要であったと考えております。 コロナ禍以外の要因としましては、地域のつながりが希薄になっていることが考えられます。地域・企業・教育機関・行政などいろいろな団体の連携により、多くの区民が参加したくなるような魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。	
	7【経営課題1－2】 区民まつりのパレードを復活しないのか。	以前はこぶし通りでパレードを実施しておりましたが、現状では道路を封鎖し、バスを止めたり、近隣店舗の顧客等への影響もあり、パレードの実施は難しい状況です。令和5年度も9月10日（日）に区役所、消防署で区民まつりを開催予定です。実行委員の方にはできるだけブースやステージ等に参加していただくよう案内もしています。	
	8【経営課題1－2】 令和4年度を取組実績で、BCP学びの場の開催が1回は少ないのではないかと。連続で開催できないか。	BCP学びの場は、令和5年度は2回の開催を予定しています。研修の開催のみならず、企業の集まりなどにも出向いての講座を検討するなど、効果的な手法を検討して取り組んでまいります。	
	9【経営課題1－2】 新たな担い手として、大学だけでなく中学生なども将来の担い手になるのではないかと。	区内2大学と連携した地域活動の取り組みの話もありますが、淀川区では中学生を担い手とした取組を進めている事例もあるので、他区の好事例を共有していければと考えております。	
	10【経営課題1－2】 魅力発見プロジェクトの成果の情報発信してはどうか。 また、他都市の視察の際にも活用してはどうか。	区政会議の場で発案された魅力発見プロジェクトが自立して活動を進めることができるようになってきており、区役所と一緒に活動していたときよりも自由に活動できることが増えるのではないかと考えています。区役所といたしましても、今後の魅力発見プロジェクトが活躍できるよう、情報発信等必要となる支援を行ってまいりたいと考えております。	
令和4年度東淀川...	11【経営課題1－3】 西部地域まちづくりの進捗が「順調でない」原因は。	コロナ禍で各地域での議論が進まなかったことが主な要因と考えています。	地域課（企画調整）
	12【経営課題1－3】 西部地域まちづくりでどのようなまちになるのか、見える広報が必要ではないか。	各地域でも活用いただける広報素材について、まちづくり協議会で議論いただいております。	
	13【経営課題1－3】 西部地域まちづくりの話し合いに参加できるのか。	各地域活動協議会から選出された部会員にお集まりいただく形をとっております。	

川
区
運
営
方
針
自
己
評
価
に
つ
い
て

【当日出された意見等】			
	意見内容	回答	担当課
14	【経営課題 4－2】 空き家の件数把握が必要。 区役所としてどう考えているのか。	外観のみでは居住の有無の判断ができないこともあることから、空き家対策については、通報等に応じ問題のある建築物に対し管理者への適正管理を助言指導しており、件数把握は考えていません。なお、その他の空き家に対しては、広報紙等で広報を行っています。	
15	【経営課題 4－1】 3 地域で実施した、福祉施設との連携等を盛り込んだ訓練はどこで、どのような訓練を実施したのか。	令和 4 年度は小松、菅原、豊新の 3 地域で実施しました。小松では避難所開設訓練、搬送訓練、要介護者支援の訓練として車いす利用者の訓練を実施しました。菅原では区医師会による応急手当講習、区社会福祉協議会による要配慮者の介助講習を実施しました。豊新ではイオンスタイル東淀川で車いす利用者、乳幼児の避難訓練を実施しました。	地域課（安全まちづくり）
16	【経営課題 4－1】 具体的取組 4－1－1 のプロセス指標は区民の自発性によるもので、行政だけでなく、様々な団体の協力も必要ではないか。	区役所といたしましては、自助としての家庭内備蓄が基本であると考えており、災害時に備え、最低でも 3 日間、できれば 1 週間分の食料や飲料水等の家庭備蓄が行われるよう地域の自主防災組織や区内の大学等との連携による啓発に取り組んでいます。家庭備蓄の必要性を幅広く浸透させるため、引き続き、各地域の自主防災組織や区内の大学をはじめ、様々な団体と連携協力して家庭備蓄の啓発を行ってまいります。	
17	【経営課題 4－1】 区職員も被災者であることの周知や、区民に何をしたら助かるかを周知してはどうか。	災害時は在宅避難が基本となりますが、発災後、避難指示が出た場合、まずは避難所の開設・運営、次に災害情報を地域に発信し、地域の皆さんに情報を得ていただく流れになっているので、皆さんにもご協力をお願いしたいと考えております。	
18	【経営課題 4－2】 H30年度から 5 地域で実施されている地域の青パトの相互乗り入れの 5 地域とはどこか。	新東淀中学校区の 5 地域で実施しています。	
19	【経営課題 4－2】 特殊詐欺対策電話の設置により特殊詐欺の件数はどのくらい減っているのか。	昨年は区内で54件発生しています。東淀川警察署や関係行政機関のオール東淀川で啓発活動を実施しており、区役所でも電話機に設置する機器の貸出を実施しています。今年は 5 月現在で12件発生しています。	
20	【経営課題 4－3】 ながらスマホを減らすための対策が必要。	警察署や地域と連携した春・秋の交通安全運動、区民まつり等のイベントでの啓発に加え、区HP等を利用して自転車の安全利用に係る啓発活動を行ってまいります。	
21	【経営課題 4－3】 自転車のヘルメット着用率が低いので、継続した		
22	【経営課題 4－3】 道路上の白線（一時停止等）が消えかけているときなど、どこに連絡すればいいのか。	「止まれ」や横断歩道は警察の所管であり、道路の中央線や分離線は道路管理者の所管になります。 所管がわからない場合等は区役所までご連絡ください。	地域課（安全まちづくり）
23	【経営課題 4－3】 コミュニティバスを検討してほしい。	区内の交通ネットワークは一定整備されていると考えており、バスの拡充は難しいと考えていますが、交通マナーや健康面での啓発については、できることを検討していきたいと考えております。	
24	【経営課題 4－3】 健康のために自転車を使わない距離の目安を示す等の啓発をしてはどうか。		保健福祉課（保健企画）
25	【経営課題 5－3】 苦情（クレーマー）対応を早期に対処してほしい。	すみやかに対応できるよう努めてまいります。	窓口サービス課（住民情報）
26	【経営課題 5－3】 マイナンバーカードの交付件数は？	令和 5 年 3 月末時点で東淀川区で110,212件となっています。4、5 月で交付も進んでいます。 東淀川区では65%超の方が保有しております。 令和 5 年 7 月末時点で交付件数は123,410件、交付枚数率は72.1%です。	
27	【経営課題 5－4】 令和 3 年度の不適切事務や個人情報漏えいの件数は。 また、令和 4 年度に発生した事案の内容は。	令和 3 年度の個人情報事務処理誤りは 7 件、不適切事務処理の発生件数は 1 件です。 令和 4 年度に発生した個人情報事務処理誤りの内容については、チェックを怠ったために、他の方の書類を別人へ誤送付した事案などがあります。 発生事案を共有し、再発防止を周知徹底してまいります。	総務課（総務）
28	【経営課題 4－2】 不法投棄等の対策が必要ではないか。	不法投棄を見かけたら東北環境事業センター（06-6323-3511）まで通報してください。 大阪市HP:不法投棄を見かけたら 	総務課（総合企画）

【当日出された意見等】				
	意見内容	回答	担当課	
	1	【経営課題２－１】 コロナが緩和され外出する機会が増え、相談する機会が増えるはずなので、もっと達成率が上がると思う。	コロナも5類となり、人の動きも大きくなってきたことから、今がターニングポイントと考えています。 地域と連携し、今まで以上に事業を活発にしていきたいと考えております。	保健福祉課（子育て・教育）
	2	【経営課題２－１】 子育てサロンを土日開催（ふれあい喫茶・食堂など）地域のひと話しをする、食べて帰ってもらう。	就労している母親が増加し、母親に対する情報発信は必要であるため、区として、3か月児健診の待ち時間や子育て情報マップを活用して、子育てサロンの周知を継続してまいります。 子育てサロンの出前講座については、多くの人に参加してもらえるよう、実施者と相談しながら日時・開催方法・周知など、様々な角度から工夫していきたいと考えております。	
	3	【経営課題２－１】 子育てサロンの出前講座はありがたいが、参加者が少なくもったいない気がする。		
	4	【経営課題２－２】 こどもサポートネットの取組結果が良いので、学校での不登校生徒への対応をしてもらうのはどうか。	こどもサポートネットの中で、「不登校」を課題にあがるこどもは全体の約20%で、年々増加しています。その多く事案については、SSWやSCが学校内で対応していますが、不登校の要因はこども側や養育者側であること等さまざまであることから、こどもサポートネットの推進員等がその要因を探るため、当該家庭との関係性を維持しながら、学校と連携して引き続き取り組んでまいります。	
	5	【経営課題２－１】 助産師による専門相談事業のアンケートの具体的な対象者・全体の母数は？不安が軽減されなかった方についての理由などの分析は。	全体の母数は8名。うち7名の方が不安の軽減につながったとの結果です。こどもの発育発達に伴い、不安の内容が変化し、一つの不安をクリアすると次の不安が出てくることもあり、不安の軽減につながらなかった理由であるとみています。一方、「子育ての自信につながった」と回答した割合は100%であり、保健師・助産師が相談者であることを引き続き周知してまいります。	
	6	【経営課題２－２】 地域連携事業の名称・内容を知っているかをアンケートで問うたのか。徐々に認知度が高くなっているのか。	区民アンケートの質問項目は『学校を活用して実施している「はぐくみネット事業」「生涯学習ルーム事業」「学校体育施設開放事業」の取組を知っていますか。知っている事業に○をつけてください。（複数回答可） 「はぐくみネット事業」…見守り活動、情報誌の発行等の学校と地域をつなぐ学校教育の支援 「生涯学習ルーム事業」…生涯学習への参画や啓発を目的とした講座の実施 「学校体育施設開放事業」…継続的なスポーツ活動を行う場や機会の提供』としています。 なお、区民アンケートについては、無作為抽出した20歳以上の東淀川区民2,000名を対象に実施していますので、年ごとに回答者が変わりますが、令和2年度以降、認知度は年々高まっています。	
	7	【経営課題２－３】 区民アンケート回答者は「生きる力」をはぐくむためにどんな取り組みがされているか知らないのではないか。知らないと「整っている」とは感じないと思われる。	この間、さまざまな取組についてホームページ、SNS、広報紙等による情報発信を行ってきておりますが、引き続き、より多くの区民の方に各種取組を知っていただけるよう、積極的に取り組んでまいります。	
	8	【経営課題２－２】 プロセス指標①こどもサポートネットの取組により支援が必要であることが判明した子育て家庭のうち、適切な関係機関につなげた割合が目標達成になっているが、支援が必要との声が届いていないと思われることがいくつかある。	こどもサポートネットは、学校の気づきからはじまり、まず学校内でどのこどもを区役所と共有するか、学級担任や支援学級担任等こどもと身近に接する教職員からの情報をもとに、校長・教頭やSSW等と調整して学校内の会議にাগり決定しています。区役所としては、こどもサポートネット推進員による毎月の巡回で、学校から気になるこどもについてさらに丁寧に聞き取り、支援につなげるよう引き続き対応してまいります。地域でそのようなケースがありましたら区役所にご一報いただければ有難く存じます。	
	9	【経営課題２－２】 子どもが人間関係（友達）の築き方が難しくなっていると聞いた。大人も含めこれからも活動を続けてほしい。	子ども同士のつながりや、保護者や大人同士のつながりのきっかけが少なくなっているのではないかとという問題提起として理解しました。地域や区役所がイベントや取組を進めていくうえで、大切な視点のひとつとして、認識してまいります。	

【当日出された意見等】			
意見内容		回答	担当課
議題１ 令和４年度東淀川区運営方針自己評価について	10	【経営課題２－２】 青少年育成推進事業の内容は区独自のものか？青少年育成大会でのアンケートの対象者はPTA・青指など元々関心が高い層のみが対象であるなら、結果は高くなるのではないか。	青少年育成推進事業は24区で実施していますが、取り組み内容は区により異なります。 令和5年3月の東淀川区の青少年育成区民大会は、オリンピック水泳メダリストの講演などを行い、ホームページ・ポスター等で広く周知し、さまざまな方にご参加いただきましたので、アンケートでは幅広くいろんな方のご意見をお聞きしています。
	11	【経営課題２－２】 民間事業課外学習事業が中学一年生を対象に入ったが、プリント学習が多くやめる生徒が多いので協議が必要である。	
	12	【経営課題２－２】 「こども110番の家」について、新規でお願いしたり見直ししたりしているのか。	
	13	【経営課題２－２】 先日の地域と学校ではぐくみの会議があり、小学生自身が「こども110番の家」がどこにあるのかの周知ができていないことが判明した。	
	14	【経営課題２－２】 生涯学習ルームの認知度の低さが残念である。	
	15	【経営課題２－３】 区役所SDGsのロゴを使用した発信がわかりやすいので、各学校の教育目標の発信等にもつけてほしい。	
	16	【経営課題２－３】 学校・地域の実情に応じた教育が行われていると感じる割合を高めるために、課題・実情を示し、こんな事業を実施していると伝えた方がよい。単なる実施内容だけ知らせても実感にはつながらない。	
	17	【経営課題２－３】 課外学習事業について、小学生の参加数はどれくらいか。	
	18	【経営課題３－１】 地域の中でもまだまだ福祉コーディネーターのことは知られていない。	地域福祉コーディネーターの認知度の向上が課題と考えております。今後も周知を継続してまいります。 各地域の福祉会館等を利用し、地域福祉コーディネーターが身近な相談窓口となっています。広報紙やホームページ等で周知していますが、地域の皆様が気軽に相談できるよう、今後も周知等に努めてまいります。
	19	【経営課題３－１】 地域福祉コーディネーターの認知度が上がらない。もう少し違う策を考えてみては。	
	20	【経営課題３－１】 地域福祉コーディネーターの認知度について、各種団体の会議には出席されているようだが、地域住民が地域福祉コーディネーターを認知しているか疑問に思う。	

【当日出された意見等】				
	意見内容	回答	担当課	
21	【経営課題３－１】 地域福祉コーディネーターの仕事がいまだに理解されていない。		保健福祉課（保健福祉）	
22	【経営課題３－１】 地域福祉コーディネーターは独居老人の数や注意する家、見廻り、声掛けなど地域と連携して行えているか。	東淀川区社会福祉協議会に設置している見守り相談室と地域福祉コーディネーターが連携し、見守りが必要な方の見守りや声掛けを実施しています。また、一部の地域では、民生委員とも連携しながら見守り活動等を実施していますので、そういった事例を他の地域にも共有する等により、今後も、地域での見守りネットワーク体制の構築推進に努めてまいります。		
23	【経営課題３－１】 地域福祉コーディネーターがどれくらいの相談回数（頻度）を知りたい。	令和４年度の延べ相談件数（合計）は7,017件でした。平均すると１地域当たり、１か月に概ね30件程度です。		
24	【経営課題３－２】 地域別保健福祉計画の内容を子育て世代は認知できているのか。また、地域内での連絡や周知はできているのか。	令和８年度末までに区内全17地域で地域別保健福祉計画が策定されることを目標としているため、毎年度３地域以上の活動開始が必要と考えています。地域福祉コーディネーターがアセスメントを行った「地域別保健福祉計画」を策定する際の基礎資料（地域の課題や強み等）の内容や地域の状況等を勘案し、各地域での「地域別保健福祉計画」の新規策定及び更新の活動を東淀川区社会福祉協議会と共に支援しています。		
25	【経営課題３－２】 地域別保健福祉計画の策定について、新たな３地域はどのように選定されたのか。			
26	【経営課題３－２】 自己評価におけるプロセス指標「新たに地域別保健福祉計画の策定に向けた活動が実施されている地域：３地域以上」について、令和８年度末までに17地域の目標を達成する過程として３地域選定したという考えなのか。			
27	【経営課題３－３】 区民アンケートで「区役所の各窓口で様々な困りごとを相談できることを知っている」と回答する人の割合が目標値を下回っているが、相談には丁寧に答えていると感じている。	地域団体及び支援関係機関とも連携しながら、周知に努めてまいります。		保健福祉課（保健企画）
28	【経営課題３－３】 民生委員のなり手不足について、どのように対応していくのか。	民生委員の活動内容の周知など、福祉局とも連携しながら認知度の向上に努めてまいります。		
29	【経営課題３－４】 検診日やイベントの告知をポスター掲示しやすいように、データをHPからダウンロードして町会の掲示板に貼れるようにしてはどうか。	検診日やイベントについては、多くの人に健診・参加してもらえるよう、いただいたご意見も参考に紙媒体とデジタルの両方を活用しながら周知や受付方法など、様々な角度から工夫していきたいと考えております。		
30	【経営課題３－４】 学校のイベント等への血圧計や血管年齢測定器の貸し出しは行っているのか。	血圧計・血管年齢測定器は貸出は行っておりません。		
31	【経営課題３－４】 百歳体操の利用者に、百歳体操で元気になったらどんなことをしたいかや目標を書いてもらうなどの動機づけを行う事で、地域ボランティアの担い手獲得へつなげてはどうか。	貴重なご意見について、今後の参考にさせていただきます。住民主体の通える場として、百歳体操サポーターが運営しておりますので、サポーター交流会時に伝えさせていただきます。		
32	【経営課題３－４】 百歳体操の利用者は、はつらつと生活している方が多くとても良い取組であり、認知度も高く感じる。	今後も引き続き、地域役員や百歳体操サポーターと協働・連携しながら周知してまいります。		
33	【経営課題３－４】 百歳体操は高齢化社会において必要なのもっと広げて行って欲しい。	現在区内57か所で実施しております。住み慣れた地域でいきいきと安心して生活できるよう、通いの場の継続及び新規立ち上げへの支援を今後も行ってまいります。		
34	【経営課題３－４】 百歳体操会場の福祉会館から遠い方のために町会で百歳体操を行っている。	百歳体操の新規立ち上げの取り組みを行っております。ご希望がある場合、地域担当保健師にお声かけいただきましたら、新規立ち上げのお手伝いをさせていただきます。		

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	担当課
35	ICTを活用すると言っているが、区のHPまでなかなか見に行かないし、SNSで現在稼働しているのは区役所からの一方通行の発信であるLINEだけで、FacebookやX（旧Twitter）は止まったままである。いつ再開するのか。 地域づくりアドバイザー個人が運営しているFacebookで情報を収集しているのが現状である。	Facebookについては、8月より新たに公式ページを開設し運用を開始しておりますので、今後、区のイベント・行事、地域活動、行政情報等を発信してまいります。 また、X（旧Twitter）については、日々、行政情報等を発信しております。 Facebook  X（旧Twitter） 	総務課（総合企画）
36	【経営課題2－2】 青少年育成推進事業について、中学生を対象に防災リーダー育成を入れてほしい（安全・安心でも担い手を中学生も含めたいと意見が出ていた）。	区役所の防災担当としましては、区内の小中学校からの依頼に応じて、担当の職員を講師として派遣し、各学年に適した内容の防災に関する学習会を開催するなど、児童・生徒の防災に対する意識の向上に資する取組を継続して実施しております。	地域課（安全まちづくり）